

令和7年10月3日

報道機関各位

長岡市教育部中央図書館長



次代に伝えたい、長岡の歴史を語りつぐ

長岡市

れきぶん講演会・企画展を開催します

歴史文書館は、市民のみなさまがこれまで大切に守り伝えてきた「地域の歴史資料」に焦点をあて、これまでの取り組みを振り返り、未来に向けてその取り組みを継続、発展させていくための展望を探るべく、講演会・企画展を開催します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ周知にご協力いただくとともに、取材くださるようお願いいたします。

第6回 れきぶん講演会

「地域歴史資料の散逸を防ぎ、継承する」

- 1 日 時 10月11日（土） 午後2時～3時30分
- 2 会 場 長岡市歴史文書館 講座室（長岡市長倉西町458番地7）
- 3 定 員 60人
- 4 講 師 西村 慎太郎氏（国文学研究資料館教授）
- 5 内 容 歴史資料をとりまく事例を具体的に提示し、歴史資料継承の理想像を提言します。

令和7年度企画展

「地域で残す 地域の資料 私たちにできること」

- 1 展示期間など 10月10日（金）～11月29日（土）
開館時間：午前9時～午後5時（日・月曜日、祝日休館）
- 2 会 場 長岡市歴史文書館 閲覧・展示室
- 3 概 要 平成16年新潟県中越地震後、翌17年に発足した「長岡市資料整理ボランティア」の20年のあゆみを、整理した歴史資料や記録写真などから振り返ります。

問い合わせ：歴史文書館 広井
TEL 0258-36-7832

地域歴史資料の 散逸を防ぎ、 継承する



多くの歴史資料が散逸の危機に瀕しています。

歴史資料を継承して地域持続に活かすために必要な視角を検討します。

令和7年
10/11 土

14:00～15:30 (開場13:30)

会場 長岡市歴史文書館 講座室

講師 西村 慎太郎 氏
(国文学研究資料館教授)



■講師プロフィール

国文学研究資料館教授、総合研究大学院大学教授。
専門は歴史学（日本近世史）。
地域歴史資料の保全を進める。近年は原発事故被災地の歴史資料・文化財の保全、大字誌編纂を行っている。

■参考文献

菅豊・北條勝貴編『パブリック・ヒストリー入門—開かれた歴史学への挑戦』（勉誠出版、2019年）、天野真志・後藤真『地域歴史文化継承ガイドブック』（文学通信、2022年）、西村慎太郎監修『BIOCITY 85号 福島のご記憶—複合災害と「文化」のレジリエンス』（ブックエンド、2021年）、西村慎太郎『「大字誌浪江町権現堂」のススメ』1・2（いりの舎、2021年・2023年）、西村慎太郎「地域の人びととともに地域の歴史・文化を綴る」（『月刊社会教育』829、2025年）

定員60人（先着）／入場無料

申込み 9月10日（水）～10月8日（水）に
長岡市歴史文書館へ来館またはお電話で
TEL 0258-36-7832





地域で残す地域の資料 私たちにできること

長岡市資料整理ボランティア発足20年

令和7年

10.10(金)~11.29(土)

開館時間：午前9時~午後5時
日・月曜日、祝日休館

※会期中も通常の閲覧・調査相談対応を行っています。

観覧無料

ボランティア活動の見学

古文書整理や新聞資料整理の現場をのぞいてみませんか。

10月16日(木)・28日(火)・11月13日(木)・25日(火)

午前10時~11時30分の間で随時

場所：1階 講座室

※時間によっては休憩中場合があります。

申込み不要

展示解説会

10月18日(土)・25日(土)・11月1日(土)

午前10時~(30分程度)

定員：各回5名(先着)

申込み不要

期間中のイベント

第6回れきぶん講演会

10月11日(土)

※要申込み

平成16年(2004)、新潟県中越地震が発生。長岡市資料整理ボランティアは、翌年10月より、文書資料室(歴史文書館の前身)とともに、被災した土蔵や家屋から救出された歴史資料の整理作業を開始しました。以来20年、活動の幅を広げながら、地域の歴史資料を後世へ残す取り組みを続けています。

本展では、整理した歴史資料や記録写真などをおとして、その20年のあゆみを振り返ります。

